

別添3

平成 31（2019）年度マサバ太平洋系群の 管理基準値等に関する研究機関会議提案

国立研究開発法人 水産研究・教育機構並びに、共同実施機関は、平成 31（2019）年度マサバ太平洋系群の管理基準値等に関する研究機関会議において、平成 31 年度資源評価に必要な科学的パラメータについて議論し、以下の点を提案する。

管理基準値

- ・ 目標管理基準は、SBmsy で 1,540 千トン
- ・ 限界管理基準値は、SB0.6msy で 560 千トン
- ・ 禁漁水準は、SB0.1msy で 70 千トン

チューニングパラメータ β

- ・ β が 0.9 以下であれば、10 年後に目標管理基準を 50%以上の確率で上回ると推定される。

その他

- ・ 再生産関係のパラメータ推定に使用するデータは、平成 30（2018）年度本系群の資源評価で推定された 1970～2017 年の加入量および親魚量を用いた。
- ・ 本系群は加入変動が非常に大きく、過去に低い加入が続けて発生したときに急激に資源量が減少した。目標親魚量は、低い加入が続く事態でも資源の持続的利用を損なわないレベルに相当する。